



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(東証スタンダード・コード3174)
代表者名 代表取締役社長 前原 聡
問合せ先 取締役管理部長 丸山 誠
電話番号 03-3562-7525

特別利益及び特別損失の計上並びに

2026年8月期第2四半期(中間期)連結・個別業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年8月期第2四半期(中間期)連結決算において、特別利益及び特別損失の計上を行うとともに、2025年10月15日に公表いたしました2026年8月期第2四半期(中間)累計期間(2025年9月1日~2026年2月28日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

前年度末閉店の一店舗について、退店費用確定に伴う店舗閉鎖損失引当金戻入額4,800千円を2026年8月期第2四半期(中間)連結累計期間の特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の内容

今後の事業環境及び見通し等を踏まえ、「固定資産の減損にかかる会計基準」等に基づいて将来の回収可能性を検討した結果、3店舗の減損損失6,495千円を第2四半期(中間)連結累計期間の特別損失に計上いたしました。

また、2025年11月4日に第三者割当による新株予約権(行使価額修正条項付)及び無担保普通社債を発行いたしました。新株予約権の権利行使に伴って相殺契約に基づく社債の繰上げ償還を行った結果、社債償還損の累計金額6,479千円が第2四半期(中間)連結累計期間の特別損失となりました。これらにより2026年8月期第2四半期(中間)連結累計期間における特別損失の累計計上額は13,778千円となりました。

なお、上記の特別利益及び特別損失につきましては、本日公表の「2026年8月期第2四半期(中間期)決算短信」に反映しております。

3. 2026年8月期第2四半期（中間期）連結・個別業績予想と実績との差異

2026年8月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異（2025年9月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,371	百万円 135	百万円 113	百万円 95	円 銭 37.41
実績（B）	4,387	4	△16	△36	△13.09
増減額（B－A）	19	△131	△129	△131	－
増減率（％）	0.4	－	－	－	－
（ご参考） 前期第2四半期実績	4,726	△81	△97	△205	△80.64

2026年8月期第2四半期（中間期）個別業績予想と実績との差異（2025年9月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,075	百万円 105	百万円 88	百万円 80	円 銭 31.46
実績（B）	4,170	31	13	△6	△2.42
増減額（B－A）	95	△74	△75	△86	－
増減率（％）	2.3	－	－	－	－
（ご参考） 前期第2四半期実績	4,531	△43	△54	△160	△62.98

差異の理由

（1）連結

個別の業績が下記（2）記載のとおり当初予想を下回ったこと、AbHeriにおいては11月以降の日中関係悪化に伴ってインバウンド需要が減退したこと、No.の販売が予想を下回って推移したことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益が予想を下回ることとなりました。

（2）個別

売上高につきましては、ジュエリー・金地金商品の販売が順調に推移し計画を上回る実績となりましたが、売上総利益率について、繁忙期の実績が予想数値を下回ったことから、営業利益の実績が予想を下回ることとなりました。ただ売上総利益率向上の取組みにおいては、前期第2四半期（中間期）の31.1%（収益認識基準適用前）から33.6%

（同）へ2.5ポイント向上いたしております。販売費及び一般管理費については、ほぼ予想通りに推移していましたが、売上総利益額の未達により営業利益・経常利益が予想数値を下回る結果となりました。

また、加えて、上記1. 特別利益の計上及び上記2. 特別損失の計上により、中間純利益が予想を下回る結果となりました。

4. その他

2026年8月期通期業績予想（連結・個別）につきましては、ハピネス・アンド・ディ単体における売上総利益率の改善が足元において当初の予想を上回って推移していることから、現時点では当初予想を据え置きとさせていただきます。今後、開示すべき事項が発生しましたら、速やかにお知らせさせていただきます。

以 上